



サポーター会通信

サポーター会通信第17号 発行日 令和7年12月1日



元興寺の瓦

副会長 佐藤 陣一

考古学に興味を持っている私は取り分け古瓦に惹かれるものがあります。

一般的に瓦が付く漢字は、瓦礫、瓦解・瓦全と云った余り役立たないものの代名詞のようで、良い意味には使われていません。

瓦はご案内のように今から1400年以上も昔に仏教の伝来と共に日本に伝えられました。「日本書紀」によれば、崇峻元年（588年）百濟国から仏舎利とともに派遣された寺工2名、鑪盤博士1名、画工1名と瓦博士4名が渡来し、時の権勢者蘇我馬子が蘇我本宗家の氏寺として日本初の瓦葺寺院飛鳥寺（元興寺の前は法興寺が地名で飛鳥寺と呼ばれた）が造営され推古4年（596年）同塔が完成されました。この時葺かれた瓦の文様は素弁蓮華文とされ当時最先端の工業製品であります。この日本最初の瓦はその後、飛鳥寺が奈良の現在地（奈良市奈良町）に移転したことにもともない今は極楽堂の屋根に数千枚使用されており（元興寺縁起より）その後の時代の瓦と組み合わされ素晴らしいコントラストを描き出し燐燐と輝いています。

このように工業製品で1400年以上も現役で活躍しているのは瓦だけであると思います。奈良に行く度に立ち寄り眺めては、口では言い表せない感動を覚え満足しています。

素晴らしい瓦。バンザイ。

極楽堂



瓦：「平城京を飾った瓦」

（新泉社）より

部会活動報告

文化財保存・継承部会

○ 仙台のダークな伝承を探る - 田子、大沢地区 -

- ・日時 令和7年6月20日(金) 13時~16時
- ・参加者 16名

ダークな伝承が残されている二か所、「人柱割石」と「金玉(きんぎょく)神社」を訪問した。途中、関係はないものの「松森城跡」を訪問した。

金玉神社はもともと大沢大ヶ沢の丘陵にあり、座頭神様あるいは金玉塚とも呼ばれていました。盲人を祀ることから、参拝者は杖を奉納していくそうです。

○ 仙台のダークな伝承を探る - 広瀬川沿いに -

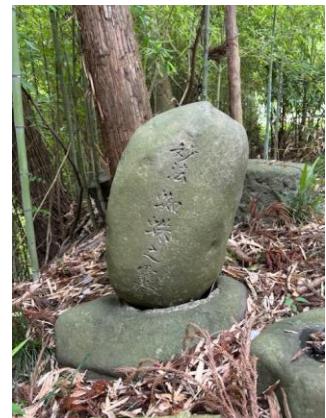
- ・日時 令和7年7月18日(金) 13時半~15時
- ・参加者 16名

賢渕、来迎寺、縛り不動明王、澣不動尊文永十年板碑を訪問した。

「化け蜘蛛」伝説のある賢渕。国道48号線沿いの一角の木々に覆われた中に「妙法蜘蛛之靈」と刻まれた石碑がありました。



金玉神社



妙法蜘蛛之靈

まちづくり研究部会

○伊達家墓所がある大年寺山を訪問

- ・日時 令和7年7月11日(金)
同 25日(金)
10時~11時半

- ・参加者 27名

無尽灯廟、茂ヶ崎城
跡、仙庵・茂ヶ崎庵
、姥杉を訪問した。



仙庵・茂ヶ崎庵

茂ヶ崎城跡



無尽灯廟

*仙台市文化財課ホームページ掲載記事（本多正明氏作成）を引用した。

注 パソコン又はスマートホンで、「仙台市文化財サポーター養成講座」をグーグル検索します。

表示下方に「文化財サポーター会について」と表示されます。クリックすると「活動報告・サポーター会通信」を読むことができます。

是非、確認をお願いします。

イベント・サポート

仙台メディアテイク

令和7年11月5日(水)～9日(日)

第82回文化財展

受付等の補助、体験プログラムの補助、展示解説



八本松市民センター

令和7年11月2日(日)

第29回 うぶすなフェスティバル

体験コーナー「拓本」支援



会員投稿

史跡探訪（一）

三神峯

小林 一男

私は史跡を訪ね歩くのを趣味としています。史跡に興味を持ったのは先祖が築城に関わっていたらしいとの話を聞いたことでした。「城」、「館」、「柵」と言われる場所は全国に無数にあります。今回紹介したいのは、「三神峯遺跡」です。

この遺跡は仙台市南西部、長町駅から約一・五キロメートル三神峯公園内にあります。南東に羊齒状に三神峯、経ヶ峯、般若峰と丘陵が続いています。標高が四十メートルから六十メートルの丘陵です。三つの古墳があることから「三神峯」と言われています。

二十数年前、三神峯に住んでいたころ近所の床屋さんが駐車場を整備した時、普段見かけないものが出土したと聞いていました。

ある時、床屋さんから八木山の方面への帰路、歩道の改修工事をしていました。工事関係者が大声で話をしていました。「これはお墓だ」というので、私も興味がわいて現場を見たくなり、頼み込んで道路下に案内してもらいました。道路下は空洞で縦横二メートル奥行き二メートル、表面に「丸い大きな石」があり周囲は小石が敷いてありました。私もこれは「お墓」だと思いました。

その後、どうなったかは分かりません。ただ、三神峯公園周辺には遺跡が多いことを知りました。

鈎取で造園業を営む社長さんから聞いた話もあります。鈎取には昔「柵」があり、部落の長が鍵を預かっていたので「鈎取」の地名が付いたということです。

近くには多賀神社があります。ここは西多賀ですが、東多賀もあることがあります。史跡が沢山あり興味が尽きないところです。

（つづく）

事務局だより

伊勢 昭一

☆文化財この1年(DVD)の貸し出しについて

仙台市文化財課で発行しています文化財普及啓発用DVDを事務局で保管しています。

ご興味のある方は事務局又は各部会にご連絡下さい。

2020年(令和2年)から2024年(令和6年)の5年分があります。

年	表題	所有数
2020年	仙台文化“財宝”－文化財この1年－2020	1
2021年	ようこそ仙台“まいぶん”の世界へ 文化財この一年-2021-	1
2022年	みんなで学ぼう仙台の文化財～文化財この一年 2022～	2
2023年	発見！これが今年の文化財 2024～開け、歴史の扉～	1
2024年	わくわく！仙台市の文化財 文化財この一年～2023～	3



年会費納入のお願い ゆうちょ銀行 記号：18180 番号：5143491

編集後記

- * 小林一男さんから投稿があった。「史跡探訪」として次回も期待したい。個人の体験を聞くと、そういえば、自分もそんな体験が・・・と思い出すのではないか。思い出を投稿しませんか？
- * 文化財課ホームページは「宝の山」です。資料・動画・刊行物がスマホで簡単に確認できます。
- * 本多正明さんの協力に感謝します。 (西條義男記)